

運転実績データ（２）[電力量・ガス使用量]

	④ 電力量割合（建物全体）	⑤ 電力量割合（空調設備）	⑥ ガス使用量割合（空調設備）
平成22年	<p>2010年合計 922,914 kWh/年</p> <p>※その他：AHU・FCU・照明・EV・OA 機器等</p>	<p>2010年合計 167,126 kWh/年</p>	<p>2010年合計 51,017m3/年</p>
平成23年	<p>2011年合計 747,775 kWh/年</p> <p>※図中の値は2010年合計に対する割合</p>	<p>2011年合計 110,097 kWh/年</p> <p>※図中の値は2010年合計に対する割合</p>	<p>2011年合計 38,744 m3/年</p> <p>※図中の値は2010年合計に対する割合</p>
考察	<p>✓2010年の合計電力量は922,914kWh/年に対して、2011年は747,775kWh/年であり、年間で約19%（8月のみでは約31%）の電力量削減が図れた。</p> <p>✓2010年は全体に対して82%がその他（AHU・FCU・照明・EV・OA機器等）を占めていたが、2011年は69%となり、結果として約13%の削減となった。この結果は、純粋に照明の高効率機器（LED化）への変更、不要照明消灯の徹底（人感センサの採用や間引き）、エレベータの間引き運転など施主様側とテナント様側の運用改善によるものである。</p> <p>✓空調用エネルギーの削減は約6%であり、省エネの徹底や運用改善により大きな効果が得られた。</p>	<p>✓2010年の空調用合計電力量は167,126kWh/年に対して、2011年は110,097kWh/年であり、約34%（8月のみでは約55%）の電力量削減が図れた。</p> <p>✓特に削減割合が大きいのは冷温水ポンプであり、約15%削減できた。これは熱源2台運転の抑制と搬送ポンプのインバータ化によるものである。</p> <p>✓冷却水ポンプも約13%削減しており、冷温水ポンプと同様に熱源の運転を1台で運用できたことと、インバータ化による効果は非常に大きかった。</p> <p>✓個別空調は増加すると予想されたが、テナント様側のご協力により微減（約3%）ではあるが削減された。</p>	<p>✓2010年の合計ガス使用量は51,017m³/年に対して、2011年は38,744m³/年であり、約24%（8月のみでは約37%）のガス使用量削減が図れた。</p> <p>✓冷温水発生機はNo.1の方がNo.2よりも削減割合が多くなったが、これはNo.1の方がNo.2よりも機器効率が良かったためと考えられる。</p>